【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2007-192532(P2007-192532A)
【公開日】平成19年8月2日(2007.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2007-029
【出願番号】特願2006-349839(P2006-349839)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　11/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　11/02　　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月4日(2009.6.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
フィルタと、
回転ブラシと吸引ファンとを含み、前記フィルタを移動させて清掃するフィルタ清掃装置と、
前記フィルタ清掃装置の運転を制御する制御部とを備え、
前記制御部は、少なくとも当該空気調和機がタイマーで運転停止した場合にフィルタ掃除運転を行うように前記フィルタ清掃装置の運転を制御する空気調和機であって、
前記フィルタ掃除運転は、
前記回転ブラシを駆動させ、前記吸引ファンを駆動させない第１のフィルタ掃除運転モードと、
前記吸引ファンを駆動させ、前記回転ブラシを駆動させない第２のフィルタ掃除運転モードとを有することを特徴とする、空気調和機。
【請求項２】
リモートコントローラを備え、
前記リモートコントローラは、
冷房、暖房、除湿等の所定の運転モード毎に設けられた、所定の運転モードで当該空気調和機の運転を開始するための運転開始ボタンと、
当該空気調和機の所定の運転モードでの運転を停止するための運転停止ボタンとを有し、
前記制御部は、前記フィルタ清掃装置がフィルタ掃除運転中に前記運転停止ボタンが押されると、前記フィルタ掃除運転を終了するように前記フィルタ清掃装置の運転を制御する、請求項１に記載の空気調和機。
【請求項３】
前記制御部は、当該空気調和機が前記運転停止ボタンによって運転停止した場合には、前記回転ブラシと前記吸引ファンとをともに駆動させる第３のフィルタ掃除運転モードにてフィルタ掃除運転を行うように前記フィルタ清掃装置の運転を制御する、請求項２に記載の空気調和機。
【請求項４】
前記制御部は、当該空気調和機がタイマーで運転停止した場合には、当該空気調和機が

前記運転停止ボタンによって運転停止した場合よりも相対的に低い電圧で前記吸引ファンを駆動させ、前記回転ブラシを駆動させない第４のフィルタ掃除運転モードにてフィルタ掃除運転を行うように前記フィルタ清掃装置の運転を制御する、請求項３に記載の空気調和機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
この発明に従った空気調和機は、フィルタと、回転ブラシと吸引ファンとを含み、フィルタを移動させて清掃するフィルタ清掃装置と、このフィルタ清掃装置の運転を制御する制御部とを備える。制御部は、少なくとも空気調和機がタイマーで運転停止した場合にフィルタ掃除運転を行うようにフィルタ清掃装置の運転を制御する。フィルタ掃除運転は、回転ブラシを駆動させ、吸引ファンを駆動させない第１のフィルタ掃除運転モードと、吸引ファンを駆動させ、回転ブラシを駆動させない第２のフィルタ掃除運転モードとを有する。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
この発明の空気調和機は、リモートコントローラを備え、リモートコントローラは、冷房、暖房、除湿等の所定の運転モード毎に設けられた、所定の運転モードで空気調和機の運転を開始するための運転開始ボタンと、空気調和機の所定の運転モードでの運転を停止するための運転停止ボタンとを有し、制御部は、フィルタ清掃装置がフィルタ掃除運転中に運転停止ボタンが押されると、フィルタ掃除運転を終了するようにフィルタ清掃装置の運転を制御することが好ましい。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、この発明の空気調和機において、制御部は、空気調和機が運転停止ボタンによって運転停止した場合には、回転ブラシと吸引ファンとをともに駆動させる第３のフィルタ掃除運転モードにてフィルタ掃除運転を行うようにフィルタ清掃装置の運転を制御することが好ましい。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
さらに、この発明の空気調和機において、制御部は、空気調和機がタイマーで運転停止した場合には、空気調和機が運転停止ボタンによって運転停止した場合よりも相対的に低い電圧で吸引ファンを駆動させ、回転ブラシを駆動させない第４のフィルタ掃除運転モードにてフィルタ掃除運転を行うようにフィルタ清掃装置の運転を制御することが好ましい。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】